

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和6年6月実施分)

- 1. 調査対象** 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:94)
- 2. 調査実施時期** 令和6年6月
- 3. 調査の内容** (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
- 4. 企業判断指標の算出方法** [(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))] [最大値100／最小値-100]

5. 調査結果(回答工場数:89社 / 回答率:94.7%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指標 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
R5.9	19	26	17	-	-	-
R5.12	-	10	6	4	-	-
R6.3	-	-	-10	-2	-13	-
R6.6	-	-	-	-19	-19	-12

原木在荷量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
当年	232,595	194,394	208,257	-	-	-
(前年)	178,153	181,049	217,366	240,658	232,595	194,394
対前年比	131%	107%	96%	-	-	-

(概況)

原木在庫は前年を下回る状況。依然として製品需要低迷によりこの状況が続くと在庫過多になるとの声も。

(回答企業の主なコメント)

原木の入荷は順調/原木在庫は前年比より少ないが、製材荷動きを加味すると過多/製材発注量が少ないため、秋頃までこの状況が続くと原木在庫は増える可能性あり/

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指標 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
R5.9	-85	-78	-64	-	-	-
R5.12	-	-70	-73	-50	-	-
R6.3	-	-	-57	-52	-30	-
R6.6	-	-	-	-52	-45	-45

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
当年	203,546	223,613	195,992	-	-	-
(前年)	239,699	231,299	202,302	204,935	203,546	223,613
対前年比	85%	97%	97%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。住宅着工の減少により荷動き悪く、回復の見通しがつかない状況との声も多い。

(回答企業の主なコメント)

製材は住宅の更なる落ち込み、海外も良くないため荷動きの回復はない/製材は前年同様動きが良くない/値段の上下にかかわらずそもそもその需要が少ない/厳しい状況が続くと思う/

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指標 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
R5.9	27	25	19	-	-	-
R5.12	-	6	8	0	-	-
R6.3	-	-	15	19	-2	-
R6.6	-	-	-	8	4	10

原木在荷量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
当年	251,858	227,910	241,635	-	-	-
(前年)	153,818	144,911	195,976	235,805	251,858	227,910
対前年比	164%	157%	123%	-	-	-

(概況)

原木在庫は引き続き前年を上回る状況。在庫は改善傾向ではあるが、依然として製品需要の低迷のため在庫増を指摘する声も。

(回答企業の主なコメント)

原木は確保できている/原木の在庫は前年より少ない見込み/使用量に見合う原料の入荷となっており、合板需要が少ないとから当面は原料不足になることはないと考えている/

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指標 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
R5.9	-86	-78	-69	-	-	-
R5.12	-	-64	-70	-49	-	-
R6.3	-	-	-63	-48	-27	-
R6.6	-	-	-	-43	-33	-38

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12
当年	180,271	182,272	177,283	-	-	-
(前年)	211,953	204,892	181,861	187,550	180,271	182,272
対前年比	85%	89%	97%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。梱包材・パレット材の荷動き悪い状態が続き減産を継続する声も。

(回答企業の主なコメント)

製品の動きは相変わらず悪い/先の見通しが全然ない/荷動きは前年よりは良いが低水準。今後も急激な増加は見込薄/家が建たないのでそもそも仕事量が減っている。この状況は変わらない気がする/

道内の木材需給の見通し（令和6年6月調査分）

一令和6年8月公表一

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

トドマツ	《4~6月》	《7~9月見通し》	○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っており、7月以降は前年を下回る見通し。	《凡 例》 《原木在庫》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》  《製品荷動き》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》 	
					
カラマツ			○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく上回っており、7月以降は前年を若干上回る見通し。		
					

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

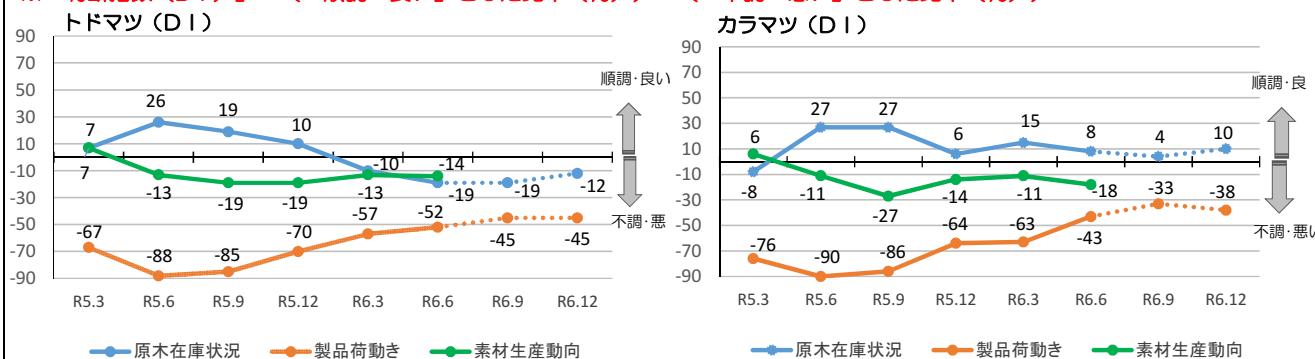
トドマツ	《4~6月》	《7~9月見通し》	○ 素材生産動向は、「順調」11%、「並み」51%、「不調」38%となっており、 <u>並み</u> から不調の見通し。	《凡 例》 《順調》  《並み》  《不調》 	
					
カラマツ			○ 素材生産動向は、「順調」8%、「並み」55%、「不調」37%となっており、 <u>並み</u> から不調の見通し。		
					

○素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI

○原木在庫、製品荷動きのDIは、前月と比較した判断指標

※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」=（「順調・良い」とした比率（%））－（「不調・悪い」とした比率（%））

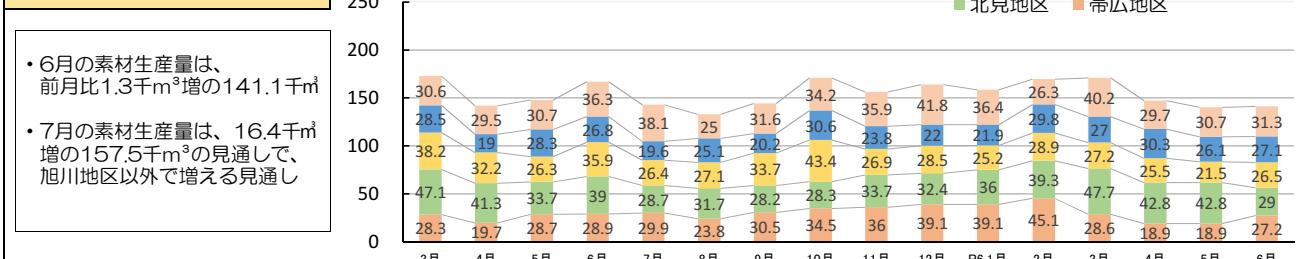


参考情報

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

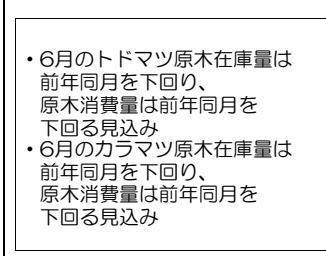
注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR6.4～6月は速報値でエゾマツを含む



出典：製材工場動態調査（北海道）による

